

寒冷地形談話会通信

1980年度第2号
5月17日発行

1. 5月例会のお知らせ

5月31日(日) PM 2:00~3:30 法政大学55年館522教室
(国電市谷駅 飯田橋下車10分)

・発表者

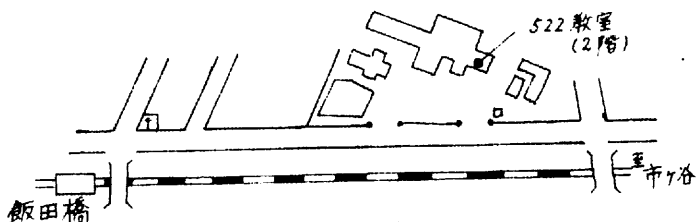
田淵 洋(法政大)・野口泰生(ハワイ大)・長谷川 均(法政大)

・テーマ

マウイ島ハレアカラ火山の周水河地形について(スライド付)

田淵さんと長谷川さんは昨平暮、ハワイ大学の野口さんの協力を得て、ハワイのマウイ島の周水河地形を調査してきています。ハワイは太平洋中の島であるため、構造上は熱帯山地型のみごとは多いが、また田淵さんたちは表土の日周期の凍結融解を確かめるため、徹夜の地温観測も行っています。周水河地形の他、新しい溶岩のつくる地形や珍しい侵蝕地形などの紹介もあります。おみのがしはく!

<会場案内図>



2. 4月例会報告

4月26日(土) 乙時より東大地理学教室にて開催。次の発表があった。 参加者21名

滝口正三(日本自然保護協会): 並山蔵之助谷における斜面の安定度と植生との関係。

(要旨)

亜高山帯の森林を調べ、斜面形と植生との間に密接な関連のあることを見出した。平坦な屋根筋にはオオシラビソとツガ、斜面下部の段丘状平坦地にはオオシラビソとミナカエデ、両者の中間の急傾斜地には間伐したダケカンバとミヤマハシノキが卓越する。この配列は主として地表面の安定度及び雪の積り方の生育の良し悪しを樹木の年輪や樹形、高さ等を指標として解析した。

3. 巡検のお知らせ

6月3日(火)～6月8日(日)に岩田修二氏(都立大)が白馬岳周辺において、地形解説と登山技術の講習を行います。詳しくは例会の前に会場で説明いたします。1時間ほど前にお集り下さい。尚、3日は夜行、8日の夜東京へ帰る予定です。希望者はあらかじめ岩田氏に連絡して下さい。

—テ158—
世田谷区深沢2-1-1 TEL 03-717-0111 内線309
東京都立大学理学部地理学教室 岩田修二

4. 事務局からのお知らせ

- 1) 談話会も新しく入会された方が増え80名を越えました。通信の発達等で出費が重み財政状況も困難しております。本年度分の会費(1000円)を納入されてはいない方はお早めに事務局の方までお支払い下さい。

—テ184—
東京都小金井市荻井北町4-1-1 TEL 0423-25-2111 内線42302 425(小泉)
東京学芸大学地理学教室内寒冷地地形談話会事務局

- 2) 住所録を作製しますので、住所、氏名、所属等を変更された方は早急に御連絡下さい。

連絡先 同上

- 3) 例会での発表者を募っています。ちゃんとした報告でなくてもいいんですから、希望者は事務局まで御一報下さい。卒論の施設方針などでもいいです。
地方にお住いの方も上京の際、ぜひお願いいたします。日時もお知らせ下されば、全員に連絡しますので、なるべく早く事務局にお知らせ下さい。

代に対して、もっと積極的に役割を担ってほしいという希望
 があった。このほか、他の学術分野（例えば、雪氷、気候など）
 ）との接触をもっと広げていくべきだという意見や、談話会が
 中心となって新しい調査方法や技術を開発していくという提
 案もあった。

以上のように、様々な意見が出たが、最終的に、シベリアの
 調査会を設立し、雪氷、気候、生態系などの調査を
 行うことになった。この調査会は、雪氷、気候、生態系
 の専門家からなる委員会を設置し、調査の計画や実施を
 行うことになった。この調査会は、雪氷、気候、生態系
 の専門家からなる委員会を設置し、調査の計画や実施を
 行うことになった。

（文 小泉）